

すべての生徒のために

特別な教育的
ニーズのある
生徒のために

個々の特性や実態
に応じた特別の指
導が必要な生徒の
ために



こんな困りを抱えていませんか？

- ・漢字の読み書きが難しい
- ・忘れ物が多い
- ・優先順位がつけられない
- ・コミュニケーションをとることが苦手
- ・物事をネガティブに考えてしまう

RACではこんな学習をしています！

- ・タブレットのアプリを活用した、読み書きをスムーズにする学習
- ・メモやスケジュール帳の活用の学習
- ・スムーズな会話や、会話の広げ方の学習
- ・物事を多角的にとらえるための学習

通級による指導『RAC』の学習内容の例

A 円滑なコミュニケーションのための知識や技能

- ・尋ね方や報告の仕方、そのタイミング
- ・謝るスキルや断るスキル
- ・こんなときどうする？のロールプレイ
- ・『はあって言うゲーム』『こころかるた』

B 情緒の安定や緊張の状況に応じた学習

- ・ストレスマネジメント
- ・リラックス法
- ・自分の心の状態、心の法則

C 話し言葉の発音や流暢性に関わる学習

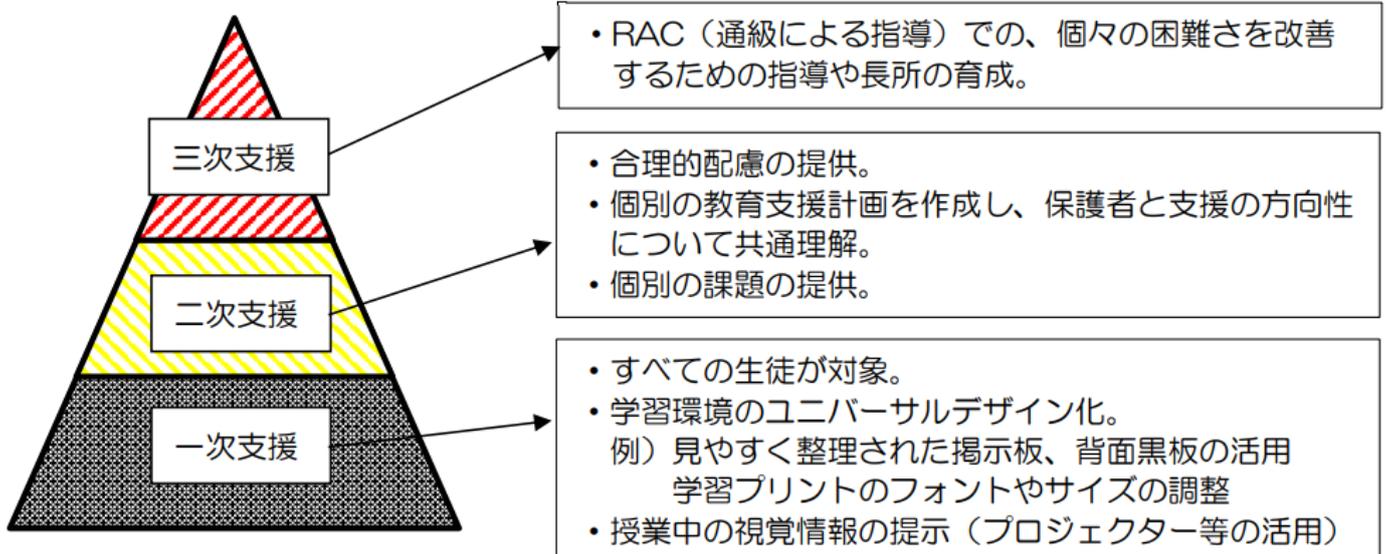
- ・フリートーク
- ・会話のスキル（聞き返されたとき、伝わっていないなと思うとき など）

D 得意不得意を自覚する学習、困難の軽減を図るための知識や技能

- ・実行機能チェック
- ・最近のニュースチェック
- ・メモ力向上

※ その他、生徒の実態に応じた目標を立てて学習に取り組みます。

【中五島高校の特別支援教育】



【ユニバーサルデザイン】

＜ユニバーサルデザインの定義＞

文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指した建築（設備）・製品・情報などの設計（デザイン）のことであり、それを実現するための過程（プロセス）である。

私たちが生活の中で目にするユニバーサルデザインの例



大人も子どもも車椅子使用者も購入しやすい自動販売機。



高齢者や車椅子使用者、幼児などに対応したスロープ。



右利き、左利きに対応したカッター。
近年、ユニバーサルデザイン化された文房具が増えている。

＜中五島高校のユニバーサルデザイン＞

本校の特別支援教育では、「中高スタンダード」＝「一次支援」として『すべての生徒が学びやすく、生活しやすい環境づくり』を行っています。その一部を紹介します。



一目でどこに何が貼ってあるか分かるような掲示物の分類。



提出物の期日を確認するためのホワイトボード。



視覚的に教材や授業内容を提示するためのICT機器の設置。

【RAC での学習の一例】

皆さんは、落ち込むことや悲しいことが当然ありますよね？

中には、落ち込みやすかったり、気にしすぎたり、イライラしすぎたりしている人はいませんか？
そのような方におすすめの理論とトレーニング方法です。

感情（嬉しい・悲しい・イライラなど）はどのように生まれているか知っていますか？

(例) (出来事) 親に叱られた → (感情) イライラする 

というように、「ある出来事」から「感情」が生まれると感じている人が多いのではないですか？

しかし、実際には・・・

(出来事) 親に叱られた → (認知・自動思考) 自分のことをわかってくれない → (感情) イライラする

というように、「認知・自動思考」により「感情」が生まれます。

この「認知・自動思考」＝「出来事のとらえ方」「自然に生まれる思考」を変えるトレーニングをすることで、感情とその後の行動に変化が出てきます。次のような感情になるためには、どのように認知を変えてみたらよいのでしょうか？ では、トレーニングしてみましょう。



★最初は難しいかもしれませんが、ネガティブ思考になっているときに思い出して実践してみてください。ひょっとすると、新たな自分が発見できるかもしれませんよ。